

写真家 宮武 健仁 氏

Takehito Miyatake



1966年大阪生まれ、徳島育ち。紀伊半島で水をテーマとして撮りはじめ、郷里の吉野川を中心に四国の水のある風景を撮り歩く。桜島の噴火を見て以来、大地のマグマの「赤い火」の迫力と、火山国の日本の各地にある地球の活動が感じられる風景と、その近くを流れる清流と、そこに暮らす光る生き物たちを追って全国を旅する。桜島の赤く光る溶岩や、ホタルの緑に輝く川、ホタルイカの青く輝く浜などの光景が評価されニューヨークへも招待され個展「日本の夜と光」を開催。著書に写真集「四季紀伊」「清流吉野川」「生きている大地『桜島』」や、写真絵本「光るいきもの（3冊組）」「火山の国に生きる（3冊組）」などがある。

「日経ナショナルジオグラフィック写真賞2013」グランプリ受賞

審査員 宮武 健仁 氏

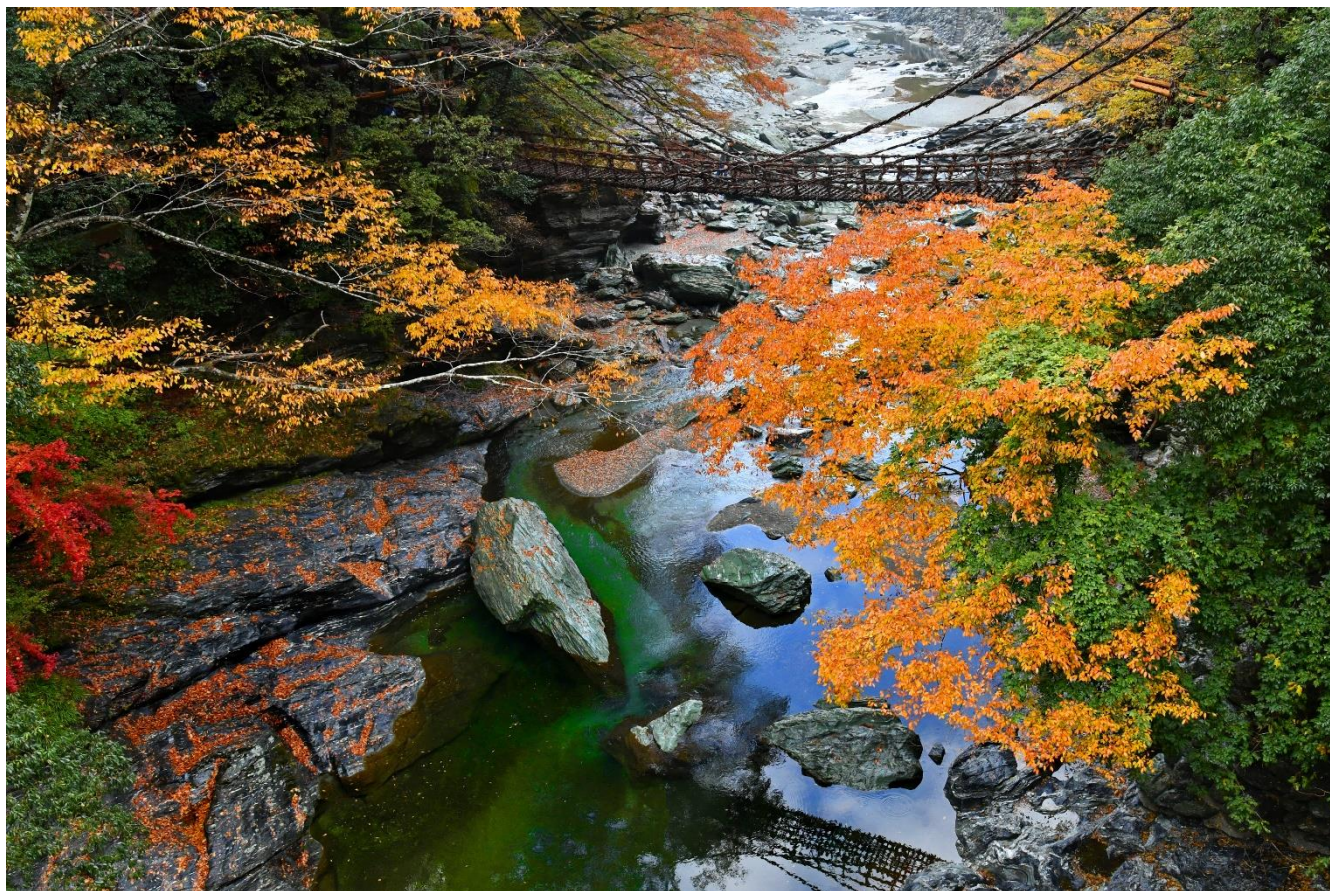
第6回千年のかくれんぼフォトコンテストに対する総評

以前より、私自身も吉野川を始め、剣山や三嶺やホタルなど、子供の頃より通った三好市さん。この度ご縁があり、この「千年のかくれんぼフォトコンテスト」を初めて審査させて頂きました。

山や川や動物や植物などの豊かな自然、寺社や建造物や祭りなどの歴史ある文化、恵まれた自然と親しみながら楽しむ多様なイベントやスポーツなど、見所・撮り所がいっぱいな地域だけあって、大きなホールに並べきれない程の様々な素晴らしい力作ぞろいで、絞り込むのは勿体無くて骨が折れました。ハッとするような奇跡の瞬間や、初めて目にするような光景にまだまだ三好には素晴らしい名所が隠れているんだと驚きました。皆さんの力作を通じて、より世界中の方々に驚きを共感してもらい、これからも皆さんと一緒に感動・発見を続けて行きたいと思いました。

平成 30 年度

第 6 回千年のかくれんぼフォトコンテスト-入選作品ご紹介 (34 点)



最優秀賞 「秋の秘境」

氏名：篠原 安吉(愛媛県)

撮影場所：西祖谷(かずら橋)

撮影日：2018年11月9日

三好市を代表する名所とも言える西祖谷のかずら橋の紅葉です。錦絵のような鮮やかな紅葉と水面に鏡のように逆さに映った橋のシルエットがとても美しく、大胆に切り取った構図のセンスも素晴らしいです。雨の後なのか岩肌が濡れて落ち着いた暗い色になっているので落ち葉の鮮やかさや、波紋の見える水面の美しさが際立っています。こんな瞬間に訪ねたいと引き込まれる作品です。



第一席 「冬晴れの朝」

氏名：佐竹 清(徳島県)

撮影場所：剣山頂上

撮影日：2018年2月14日

西日本第2の高峰の剣山の厳冬期には珍しい快晴の朝の風景です。雪と寒風が作り出した真っ白な樹氷と空の青の間に広がる谷間にはびっしりと雲海が漂い、その雲海に剣山のシルエットと共に鮮やかなブロッケン現象の二重の虹がクッキリと写っています。この時期にこの場所に立てる登山技術と撮影者の執念が奇跡の瞬間を引き付けたのだと思います。



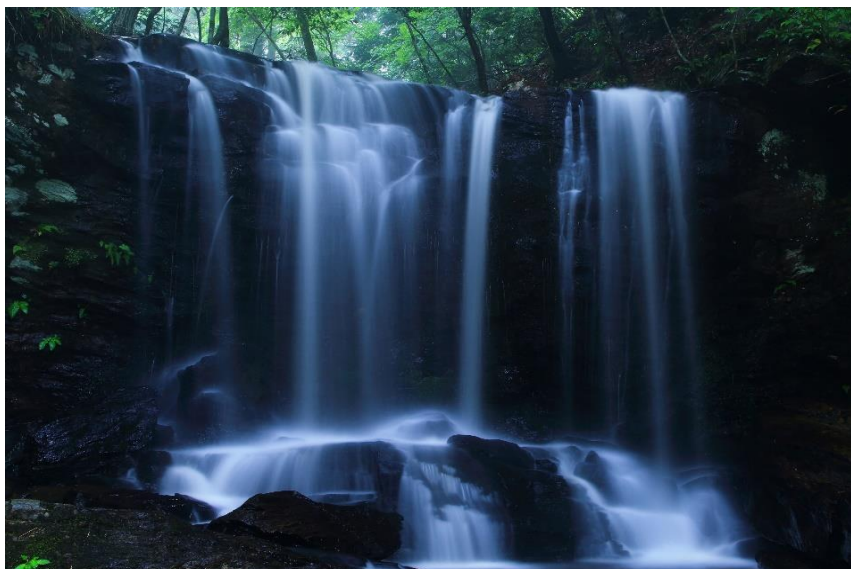
第二席 「春の準備」

氏名：芝崎 静雄(愛媛県)

撮影場所：塩塚高原

撮影日：2018年3月31日

ススキの名所で知られる塩塚高原は春には野焼きが行われ、草原の美しさを保っています。春の夕暮れに山に広がる赤い炎は幻想的でいて迫力のある光景で今回も多くの力作を拝見しました。その中でもこの作品はシルエットで写る人の姿の小ささがより炎の迫力を強調していて、構図のバランスも含めて素晴らしいと感じました。



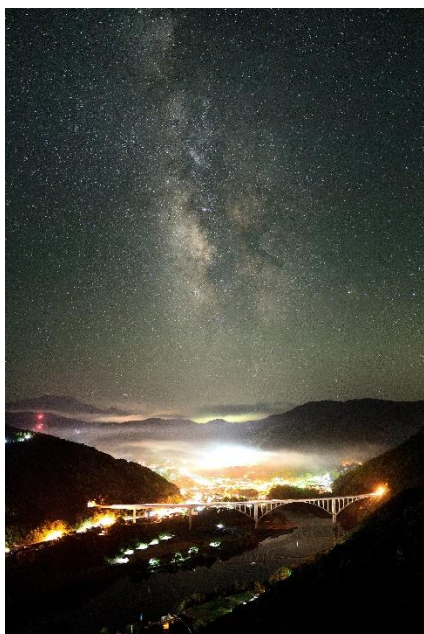
第三席 「優美な流れ」

氏名：佐伯 登(愛媛県)

撮影場所：黒沢湿原

撮影日：2018年5月30日

夏には可憐なサギソウの揺れる黒沢湿原ですが、その奥にある「たびの尻滝」をスローシャッターで幻想的に涼やかに撮られた作品です。鮮やかな新緑を背景に複雑な形の岩の間を流れる水を引き立てフレーミングしています。光と影を活かした幻想的な絵が、行ってみたくさせてくれます。



入選 「天空の神秘」

氏名：井上 義信(徳島県)

撮影場所：池田町西山展望台

撮影日：2018年6月17日

池田へそっ湖大橋と吉野川の流れの天空に流れる天の川が圧巻の力作です。天の川の迫力はもちろんなのですが、川沿いに漂う雲海が町の明かりを幻想的に輝かせてくれています。三好市は星空が美しく天の川が見える事が多いので、ぜひ現地で星空を楽しみながら撮影にもチャレンジしてみてください。



入選 「厳冬の祖谷川」

氏名：岩崎 英昭(徳島県)

撮影場所：東祖谷

撮影日：2018年2月7日

濃く澄んだ祖谷溪谷に風も無くしんしんと降る雪の純白の世界が美しいです。川岸に伸びる大きな氷柱の列が厳しい寒さを強調しています。



入選 「朝日を浴びて」

氏名：上杉 孝徹(香川県)

撮影場所：山城町信正

撮影日：2018年3月30日

三好には和紙の原料となるミツマタが多く栽培されています。背景の山なみや杉の影をアクセントに春の朝日に淡く光る一面のミツマタを爽やかに撮っています。スギナの若草色も良いですね。



入選 「坪尻駅」

氏名：大西 隆俊(香川県)

撮影場所：池田町

撮影日：2018年11月22日

薄暗い紅葉の山の谷底にひっそりと佇む秘境で知られる坪尻駅。発車した1輛の列車のライトが照らすスイッチバックのポイントと、良い具合にかかった雲が絵を引き締めています。



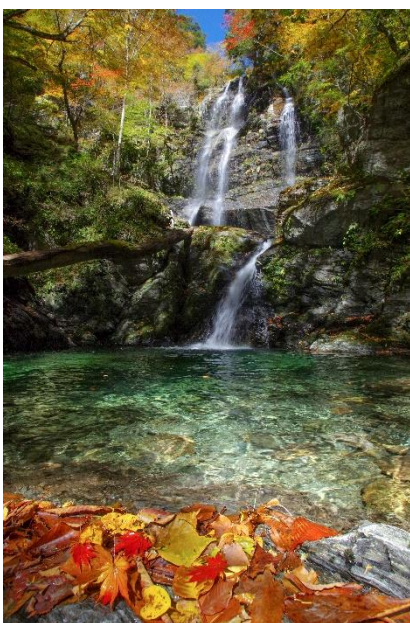
入選 「三嶺の朝」

氏名：楠本 毅(香川県)

撮影場所：東祖谷菅生(三嶺山)

撮影日：2018年11月4日

頑張って登り、無人の山小屋に泊まり迎えた夜明けが素晴らしくて努力も報われた瞬間ですね。広角レンズで見事な朝焼けの雲や朝日を夜の暗い空と共に納まり、バランスが良いです。



入選 「深まりし秋の水辺」

氏名：酒井 利恵(徳島県)

撮影場所：東祖谷菅生

撮影日：2018年10月28日

剣山に程近い深山の秋の滝の光景です。晴天が紅葉の木々をより鮮やかに、滝つぼの澄んだ水をより深く、水辺の落葉を燃える様に赤くしたところをセンス良く切り取っています。



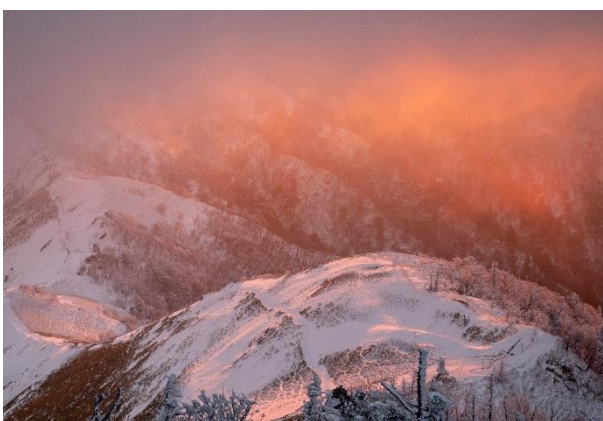
入選 「霧氷煌めく朝」

氏名：佐竹 治(徳島県)

撮影場所：落合峠

撮影日：2018年12月15日

四国の道路最高地点とも言われる落合峠の霧氷。木々だけでなく草にもびっしりと着いた霧氷が朝日に光り、青空を待った努力が実り素晴らしいです。



入選 「萌える雪山」

氏名：団 芳男(徳島県)

撮影場所：東祖谷 次郎岬

撮影日：2019年1月3日

冬の剣山から見た夕景です。極寒の光景なのですが、稜線付近にかかった雲を夕日が赤く染めてパステル調の暖かみのある絵になっています。お正月は冬山の装備なしには登れませんが、11月まではリフトで気軽に登れ、宿泊できるので霧氷の夜明けなどのこのような絶景に出会える場所です。



入選 「夕照の高原」

氏名：三井 秀範(香川県)

撮影場所：塩塚高原

撮影日：2018年10月18日

塩塚高原の一面のススキの斜面を夕日が照らし、風に揺れる穂を黄金色に染めているのがとても美しいです。高度を下げた夕日により影が出来て、ススキの輝きをより引き立てています。



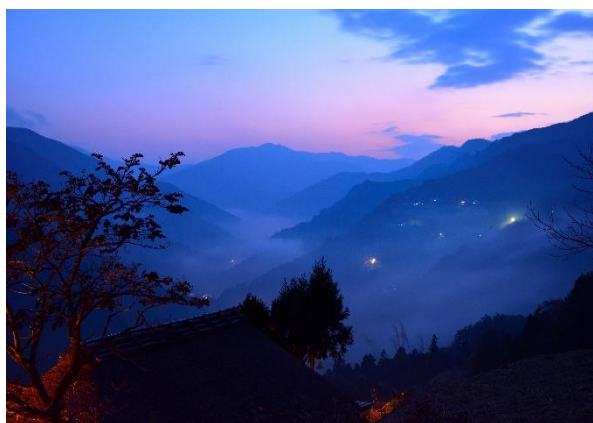
入選 「湿原の春」

氏名：米沢 美千代(徳島県)

撮影場所：黒沢湿原

撮影日：2018年4月28日

雨上がりの軟らかい光の中、新緑の中を萌えるように咲くオンツツジが鮮やかで美しいです。湿原の上に漂う霧が手前の花と共に奥行き感を出し、より広がり表現しています。



奨励賞 「郷愁」

氏名：岩本 幸広(香川県)

撮影場所：東祖谷落合 落合集落

撮影日：2018年4月4日

萱葺きの屋根の見える夕暮れの光景です。かすみもかかった春の軟らかい光が山里を淡く包んでいます。落合集落にはこんな「郷愁」体験の出来る萱葺きの宿泊施設があります。



奨励賞 「飛んで舞う」

氏名：尾崎 雄一(愛媛県)

撮影場所：池田湖

撮影日：2018年9月2日

ウエイクボード世界選手権大会での迫力ある1コマです。高速シャッターで飛び散る水しぶきや選手の髪が止まって写り、場の緊張感を高めています。



奨励賞 「深山の花園」

氏名：折野 勝規(徳島県)

撮影場所：西祖谷山村

撮影日：2018年5月8日

雨上がりの満開のクマガイソウ群落を、霧の杉木立の斜面の雰囲気を活かし、バランス良くフレーミング出来ています。偶然同じ日の朝に私も訪れましたが、無駄の無い素晴らしい構図です。



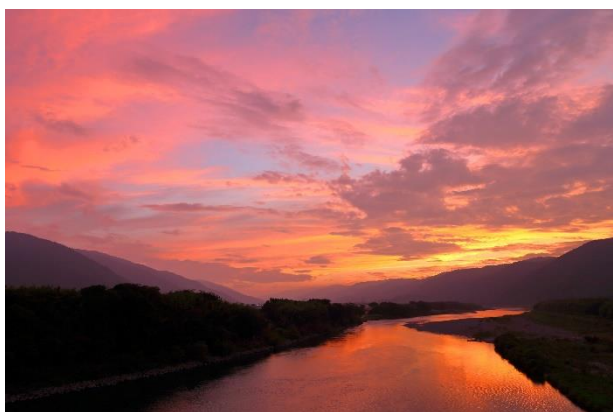
奨励賞 「輝く溪谷に行く」

氏名：柏木 昭洋(徳島県)

撮影場所：山城町重実白川橋から

撮影日：2019年1月13日

カヌー5艇を画面の隅に小さく入れ、航跡の波紋を広く配置して岩や溪谷を多く写す事で、小歩危の溪谷の風景の雄大さを表現できています。水量が少なく光線が軟らかい冬ならではの緑っぽい水色も面白いです。



奨励賞 「夕映えの吉野川」

氏名：川原 大(徳島県)

撮影場所：三野

撮影日：2018年8月11日

大歩危などでは岩を割って流れた吉野川も池田より下流では川幅も空も広がります。三野の東三好橋から見た川面を赤く染める夕焼けを表情の豊かな空を広く入れて美しく切り取っています



奨励賞 「水辺のワルツ」

氏名：倉本 幸昌(徳島県)

撮影場所：山城町頼広

撮影日：2018年6月17日

三好市にはゲンジボタルが沢山いて私も好きです。谷川に沿って上空を乱舞する緑の光の筋が蛍の多さを写しています。空を舞う光にあわせる様に輪を描いて水面に浮かぶ光は貴婦人の舞いかも知れませんね。



奨励賞 「錦秋の川下り」

氏名：栗本 靖孝(愛媛県)

撮影場所：山城町西宇(重実)

撮影日：2018年11月7日

鮮やかな紅葉の大歩危の溪谷を行く川下りの舟の風景です。秋の晴天を映した川面が青く、偏光フィルターによって透明度を増した清流がさらに澄んで描かれています。



奨励賞 「三嶺の秋」

氏名：小泉 秀城(香川県)

撮影場所：東祖谷三嶺山

撮影日：2018年10月14日

三嶺の頂上付近から徳島側の稜線にかけて岩場があったり、コマツツジやダケカンバの群生があり変化に富みます。手前に鮮やかな紅葉を入れて縦位置でメリハリをつけてまとめられています。



奨励賞 「秋の大祭」

氏名：白川 典雄(香川県)

撮影場所：箸蔵寺

撮影日：2018年11月12日

紅葉の箸蔵寺の大祭での光景。鮮やかな装束を着た僧侶たちが石段を登って行くところを高いアングルから俯瞰し、とても構図のセンスが良く撮られています。



奨励賞 「冬の楽しみ*雪物語」

氏名：瀬尾 真由美(徳島県)

撮影場所：山城町西宇

撮影日：2018年2月12日

三好を楽しむためのクルーズ列車「四国千年物語」にとって、大歩危小歩危の溪谷はクライマックスとも言えます。面ごとに色の異なる車両の深い色と赤が雪の白に映えます。



奨励賞 「秋夜のメロディー」

氏名：長谷 由美(愛媛県)

撮影場所：山城町 塩塚展望台

撮影日：2018年10月14日

天の川を中心に満点の星空を魚眼レンズで広く美しく撮られています。塩塚峰の両側に湧き上がる雲海やススキの描写も素晴らしいです。



奨励賞 「祭りを楽しむ」

氏名：中村 茂人(徳島県)

撮影場所：山城町上名

撮影日：2018年11月25日

11月に山城町で行われる「妖怪まつり」の1コマ。青空にそびえる妖怪とこれを見る親子の表情がそれぞれに写っていて面白いです。



奨励賞 「たばこで栄えた町」

氏名：西脇 幹人(愛媛県)

撮影場所：池田町マチ

撮影日：2019年1月30日

たばこ葉を始め様々な交易で栄えてきた池田には「うだつ」のある立派な屋敷が並び名残を今に伝えています。そのうだつの店に下ろされたシャッターに描かれたにぎやかでカラフルな絵が絵になっています。



奨励賞 「碧き流れ」

氏名：藤沢 弘順(香川県)

撮影場所：西祖谷山村善徳(ひの字溪谷)

撮影日：2018年10月15日

道路からの高低差の大きな祖谷溪谷でも近年注目を浴びている「ひの字溪谷」。水量が多く紅葉が始まる直前の時期に形良く鮮やかに撮っています。



奨励賞 「春がくる日」

氏名：藤本 英子(徳島県)

撮影場所：東祖谷落合農家民宿から

撮影日：2018年2月8日

福寿草の黄色い花が太陽をいっぱい浴びるように元気に開いています。絞りを開いて背景の落合集落などをぼかして手前の花にピントが合っているのは主役を引き立たせて良いと思います。



奨励賞 「魅惑のファンタジー」

氏名：峰友 道夫(香川県)

撮影場所：へそっこ公園

撮影日：2019年1月4日

阿波池田駅前のへそっこ公園の夢来人イルミネーションの輝きです。より美しく見えるアングルを工夫されたり、鮮やかな色彩を写し撮る努力が見えます。



奨励賞 「天までとどけ！」

氏名：向井 豊(徳島県)

撮影場所：池田町西山

撮影日：2018年5月20日

池田町西山の密厳寺で行われる不動の火祭りの風景です。五月晴れの青空に濃い煙がうねりながら昇る様子を縦構図でタイミング良く切り取っています。



奨励賞 「雨中の舞」

氏名：森実 栄一(愛媛県)

撮影場所：JR 池田駅前演舞場

撮影日：2018年8月15日

土砂降りに見舞われた8月15日の阿波踊りの夜、へそっこ公園ステージにての踊りのシーン。ストロボに光る大粒の雨が臨場感を高めています。



奨励賞 「春が来た2」

氏名：山根 茂美(徳島県)

撮影場所：山城町信正

撮影日：2018年3月31日

満開の桜の古木の下のベンチに座りカメラに向い笑みを浮かべる地元の女性。ふるさと絵から切り出したようなこのほのぼのとした世界は、撮影者と写される人との気持ち良い挨拶の先に生まれたのだと思います。



奨励賞 「緑の吉野川を漕ぐ」

氏名：雪本 信彰(高知県)

撮影場所：山城町西宇の吉野川

撮影日：2018年8月6日

水量の多い吉野川の大歩危周辺のラフティングは日本一ダイナミックだと言われています。その圧倒的な水のスケール感と今から瀬に滑り込んでいく人たちの緊張感やワクワク感が伝わってきます。